

上下水道事業
単年度実施計画（令和 6 年度版）



令和 6 年 3 月策定
堺市上下水道局



堺市上下水道局
マスコットキャラクター
すいちゃん



堺市上下水道局
P Rキャラクター
マモルンダー

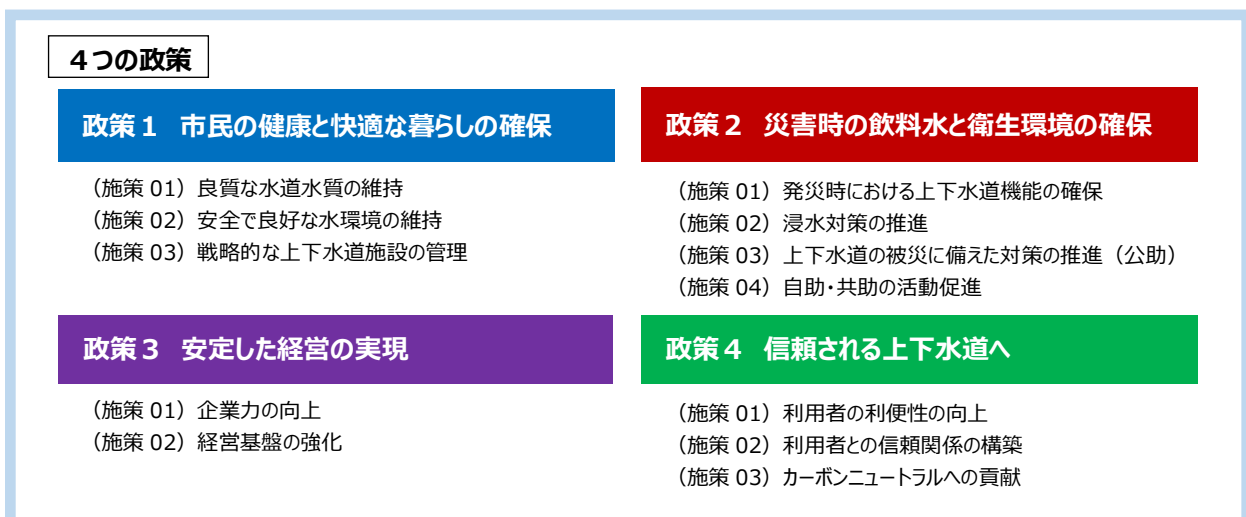
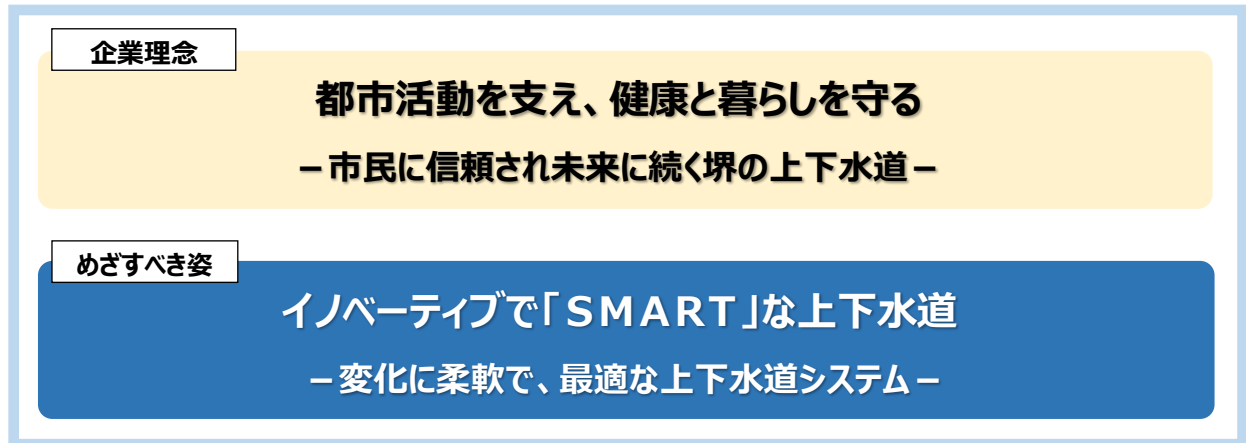
目次

I. 堺市上下水道事業経営戦略 2023-2030 について	1
II. 単年度実施計画について	2
III. KGI（重要目標達成指標）一覧	2
IV. 施策体系・KPI（重要業績評価指標）一覧	3
V. 収支見通し	5
水道事業の収支見通し	5
下水道事業の収支見通し	6
VI. 単年度実施計画	7
政策 01 市民の健康と快適な暮らしの確保	
施策（1） 良質な水道水質の維持	7
事業 1-（1）-① 良質な水道水質の維持	8
施策（2） 安全で良好な水環境の維持	9
事業 1-（2）-① 汚水の適正処理の推進	10
事業 1-（2）-② 公共用水域への汚水流出防止	11
施策（3） 戦略的な上下水道施設の管理	12
事業 1-（3）-① 水道施設の維持修繕・更新・最適化	13
事業 1-（3）-② 下水道施設の維持・改築修繕・最適化	14
政策 02 災害時の飲料水と衛生環境の確保	
施策（1） 発災時における上下水道機能の確保	15
事業 2-（1）-① 水道施設の耐震化・バックアップ	16
事業 2-（1）-② 下水道施設の耐震化	17
施策（2） 浸水対策の推進	18
事業 2-（2）-① 雨水整備の推進	19
施策（3） 上下水道の被災に備えた対策の推進（公助）	20
事業 2-（3）-① 災害対応力の強化	21
事業 2-（3）-② 飲料水の確保	22
施策（4） 自助・共助の活動促進	23
事業 2-（4）-① 自助・共助の啓発（平時の情報発信）	24
事業 2-（4）-② 災害情報の発信（非常時の情報発信）	25
政策 03 安定した経営の実現	
施策（1） 企業力の向上	26
事業 3-（1）-① 挑戦する人材の育成	27
事業 3-（1）-② 魅力ある組織の構築	28
事業 3-（1）-③ DX 推進	29
施策（2） 経営基盤の強化	31
事業 3-（2）-① 収支バランスの改善（水道事業）	32
事業 3-（2）-② 収支バランスの改善（下水道事業）	33
事業 3-（2）-③ 広域連携の推進	34
事業 3-（2）-④ 公民連携の推進	35
事業 3-（2）-⑤ 包括的民間委託のモニタリング及び効果検証	36
政策 04 信頼される上下水道へ	
施策（1） 利用者の利便性の向上	37
事業 4-（1）-① 来庁レス・キャッシュレス・ペーパーレスの推進	38
施策（2） 利用者との信頼関係の構築	39
事業 4-（2）-① 利用者との相互理解	40
施策（3） カーボンニュートラルへの貢献	41
事業 4-（3）-① エネルギー使用量の削減	42
事業 4-（3）-② 再生可能エネルギーの利用推進	43

I. 堺市上下水道事業経営戦略 2023-2030 について

「堺市上下水道事業経営戦略 2023-2030」（以下、経営戦略）は、50年間の長期の方向性と達成目標を基に策定した8か年の基本計画であり、人口減少や施設の老朽化に伴う更新需要の増大など、上下水道事業を取り巻く厳しい経営環境の中でも持続的経営を実現するために、具体的な目標と取組を示したものです。

経営戦略のめざすべき姿を具体化した3つのゴールとその実現に向けて4つの政策を設定し、政策を実現するための具体的方策として施策を紐づけています。



II. 単年度実施計画について

経営戦略の達成に向け、PDCA サイクルによるマネジメントを実施するために作成しています。8 年間の計画期間である経営戦略を基に、当該年度に実施する具体的取組を記載し職員に周知の上、同一丸となって業務を進めます。

ゴールは KGI（Key Goal Indicator：重要目標達成指標）、施策は KPI（Key Performance Indicator：重要業績評価指標）により管理します。

KGI 重要目標達成指標
Key Goal Indicator



達成すべき目標に対し、その達成度合いを定量的に評価するための指標

3つのゴールの達成度を測るために KGI を設定

KPI 重要業績評価指標
Key Performance Indicator



達成すべき目標に対し、どれだけの進捗がみられたかを中間的に評価するための定量的な指標

各施策の進捗を評価するために KPI を設定

III. KGI（重要目標達成指標）一覧

安全・安心の戦略

ゴール ▶ 上下水道施設の適切な資産管理

KGI	計画策定時の値	目標値	最新値（R4 年度）
水道の老朽管	0%	0%維持	0%
下水道の劣化管	適切に措置されている	適切に措置されている	適切に措置されている

安定・持続の戦略

ゴール ▶ 持続可能な経営

KGI	計画策定時の値	目標値	最新値（R4 年度）
累積利益	-	黒字の確保	-
累積資金	-	黒字の確保	-

信頼・サービスの戦略

ゴール ▶ 事業に対する理解度・利便性向上

KGI	計画策定時の値	目標値	最新値（R4 年度）
コールセンターへの問合せ件数	102,977 件	2 割以上減少 (R3 年度比)	103,456 件

IV. 施策体系・KPI（重要業績評価指標）一覧

政策 01 市民の健康と快適な暮らしの確保

施策					事業	分野
施策名	名称	KPI				
		R6 計画値	R8 目標値	R12 目標値		
01 良質な水道水質の維持	水質基準適合率	100%	100%	100%	①良質な水道水質の維持	水道
02 安全で良好な水環境の維持	放流水質基準達成率	100%	100%	100%	②汚水の適正処理の推進	下水道
	未水洗汚水量	5,175m ³	5,022m ³	4,728m ³	③公共用水域への汚水流出防止	
03 戦略的な上下水道施設の管理	水道管路耐震化率	33.2%	35.2%	39.2%	④水道施設の維持修繕・更新・最適化	水道
	有効率	95.0%以上	95.0%以上	R5~8の実績を基に設定		
	下水道管きよの計画的調査率	14.2%	42.8%	100%		⑤下水道施設の維持・改築修繕・最適化

政策 02 災害時の飲料水と衛生環境の確保

施策					事業	分野
施策名	名称	KPI				
		R6 計画値	R8 目標値	R12 目標値		
01 発災時における上下水道機能の確保	優先耐震化路線の耐震化率	99.0%	100% (R7)	100%	⑥水道施設の耐震化・バックアップ	水道
	配水池の耐震化率	77.4%	84.4%	88.4%		
	重要な管きよの耐震化率	96.6%	97.2%	98.3%	⑦下水道施設の耐震化	下水道
02 浸水対策の推進	重点地区の浸水対策実施率	7.7%	53.8%	69.2%	⑧雨水整備の推進	下水道
03 上下水道の被災に備えた対策の推進（公助）	上下水道機能の応急復旧の短縮	期間短縮をめざす ※国や府の指針： 水道 25 日、下水道 30 日			⑨災害対応力の強化	水道 下水道
					⑩飲料水の確保	水道
04 自助・共助の活動促進	災害に備えて家庭又は地域等で対策を講じている割合	74.5%	76.0%	80.0%	⑪自助・共助の啓発（平時の情報発信）	水道 下水道
					⑫災害情報の発信（非常時の情報発信）	

政策 03 安定した経営の実現

施策					事業	分野
施策名	名称	KPI				
		R6 計画値	R8 目標値	R12 目標値		
01 企業力の向上	研究発表等件数（計画期間内累計）	30件	60件	120件	⑬挑戦する人材の育成	水道 下水道
	時間外勤務総時間数の削減率（R1年度比）	11.4%	14.3%	20.0%	⑭魅力ある組織の構築	
					⑮DX推進	
02 経営基盤の強化	純損益（水道事業）	0億円	各年度の計画値を上回る	各年度の計画値を上回る	⑯収支バランスの改善（水道事業）	水道
	単年度資金収支（水道事業）	3億円			⑰収支バランスの改善（下水道事業）	下水道
	純損益（下水道事業）	12億円			⑱広域連携の推進	水道 下水道
	単年度資金収支（下水道事業）	△4億円			⑲公民連携の推進	
					⑳包括的民間委託のモニタリング及び効果検証	

政策 04 信頼される上下水道へ

施策					事業	分野	
施策名	名称	KPI（重要業績評価指標）					
		R6 計画値	R8 目標値	R12 目標値			
01 利用者の利便性の向上	「すいりん」の登録率	14%	16%	20%	⑳来庁レス・キャッシュレス・ペーパーレスの推進	水道 下水道	
	来庁による給排水設備の申請及び受付窓口の利用者数の減少率	給排水	0%	△40%			△80%
		受付	△25%	△45%			△80%
02 利用者との信頼関係の構築	広報・広聴の満足度（項目「満足していない」の割合）	5.0%未満	5.0%未満	5.0%未満	㉑利用者との相互理解	水道 下水道	
03 カーボンニュートラルへの貢献	温室効果ガス排出量の削減（H25年度比）	—	—	△50%	㉒エネルギー使用量の削減	水道 下水道	
					㉓再生可能エネルギーの利用推進		

V. 収支見通し

水道事業の収支見通し

(単位：億円)

項目		R4 年度 決 算	R5 年度 決算見込	R6 年度 予 算	R7 年度 見 込	R8 年度 見 込
収 益 的 収 支	水道料金	132	148	147	146	145
	その他収入	42	25	28	59	21
	収益的収入合計 (A)	174	173	175	205	166
	維持管理費	119	125	127	121	113
	(うち人件費)	17	17	14	14	14
	(うち受水費)	72	72	71	71	70
	資本費	47	48	49	51	53
	(うち支払利息)	4	5	6	6	6
	(うち減価償却費等)	43	43	43	45	47
	収益的支出合計 (B)	166	173	176	172	167
収益的収支差引 (C=A-B)	8	0	△1	33	△1	
資 本 的 収 支	企業債	68	70	60	53	40
	その他収入	7	5	12	5	5
	資本的収入合計 (D)	74	75	72	58	45
	建設改良費	84	90	91	93	69
	企業債償還金	16	15	16	16	16
	資本的支出合計 (E)	100	105	107	109	85
資本的収支差引 (F=D-E)	△26	△31	△35	△50	△40	
内部留保資金 (G)	38	39	38	41	41	
単年度資金収支 (H=C+F+G)	20	8	2	23	1	
累積資金(引当金含む)	100	107	106	130	131	
企業債残高	418	473	517	554	579	

※各金額は税込額。

※各金額は単位未満を四捨五入し、端数調整は行っていません。

※補填財源は損益勘定留保資金(減価償却費等から長期前受金を差し引いたもの)や積立金(累積資金に含まれる)等のこと。

建設改良費の内訳 主な事業の投資額 (R6 年度)

対 策 名	老朽化対策	耐震化	その他
投資額 (億円)	62	17	12

下水道事業の収支見通し

(単位：億円)

項目		R4 年度 決 算	R5 年度 決算見込	R6 年度 予 算	R7 年度 見 込	R8 年度 見 込
収 益 的 収 支	下水道使用料	157	155	154	153	152
	その他収入	136	139	138	145	146
	収益的収入合計 (A)	293	293	292	298	298
	維持管理費	90	98	105	104	104
	(うち人件費)	17	16	19	19	19
	(うち維持管理費等)	73	81	86	85	85
	資本費	186	183	179	189	190
	(うち支払利息)	32	29	28	27	26
	(うち減価償却費等)	155	154	151	162	164
	収益的支出合計 (B)	276	281	284	293	294
収益的収支差引 (C=A-B)	17	12	8	6	4	
資 本 的 収 支	企業債	114	153	147	161	156
	その他収入	45	83	63	61	73
	資本的収入合計 (D)	159	236	210	222	229
	建設改良費	110	188	159	152	161
	企業債償還金	176	176	172	165	163
	資本的支出合計 (E)	286	364	331	317	324
資本的収支差引 (F=D-E)	△127	△128	△121	△95	△95	
内部留保資金 (G)	102	106	103	111	113	
単年度資金収支 (H=C+F+G)	△9	△13	△10	21	21	
累積資金(引当金含む)	51	38	27	49	69	
企業債残高	2311	2288	2263	2259	2252	

※うち一般会計繰入金

収益的収支 (収益的収支その他収入に含む)	73	75	76	80	81
資本的収支 (資本的収支その他収入に含む)	4	4	2	2	2

※各金額は税込額。

※各金額は単位未満を四捨五入し、端数調整は行っていません。

※補填財源は損益勘定留保資金(減価償却費等から長期前受金を差し引いたもの)や積立金(累積資金に含まれる)等のこと。

建設改良費の内訳 主な事業の投資額 (R6 年度)



対策名称	老朽化対策	耐震化	浸水対策	施設統廃合	その他
投資額(億円)	48	14	59	12	27

VI. 単年度実施計画

政策 01 市民の健康と快適な暮らしの確保

施策（1） 良質な水道水質の維持

大阪広域水道企業団から受水した良質な水道水を適切に維持管理し、安全な水を供給します。

SDGs : ゴール		SDGs : ターゲット
		3.3 6.1

KPI（重要業績評価指標）

水質基準適合率（%）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	100	100	100	100	100	100
実 績	100					

事業 1- (1) -① 良質な水道水質の維持 [SDGsターゲット 3.3 6.1]

事業概要

水質の検査や監視による水道水の安全性の確保に加え、水安全計画に基づく、配水管洗浄排水や鉛製給水管の取替等の取組により、大阪広域水道企業団から受水した水道水の水質を維持し、水質基準を満たした安全な水道水を供給します。

事業目標

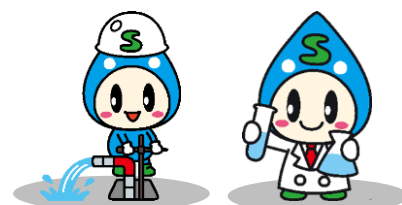
- ・適切な水質管理を継続し、水質基準適合率 100%を維持します。
- ・配水支管の更新時等に合わせて、計画的に鉛製給水管の取替を実施します。

取組

取組名	水安全計画の運用・見直し
担当部署	水道事業調整課、水運用管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・水安全計画の妥当性と実効性の検証 ・検証内容を踏まえたマニュアル等の見直し
取組名	水質の管理（検査・監視）
担当部署	水運用管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・水道 GLP システムに基づく水質検査等に関する品質管理業務の実施 ・市内 12 か所に設置した水質モニターにおける残留塩素濃度等の管理目標値の見直し
取組名	鉛製給水管の取替
担当部署	水道保全課、給排水設備課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・単独取替（187 件）に加えて、配水支管の更新に合わせた効率的な取替の実施 ・補助金制度の PR（窓口での資料配布、新規指定工事事業者への周知）





予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	142,851	0	0	0	142,851
債務負担行為	166,500 (R6~8 年度)				



施策（2）安全で良好な水環境の維持

水再生センターにおける汚水の適正処理の推進や公共用水域への汚水流出防止により、環境負荷を低減し、安全で良好な水環境の維持を実現します。

SDGs : ゴール				SDGs : ターゲット	
				3.3	3.9
				6.2	6.3 6.6
				11.b	14.1

KPI（重要業績評価指標）

放流水質基準達成率（％）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	100	100	100	100	100	100
実 績	100					

未水洗汚水量（千 m³）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	5,331	5,252	5,175	5,098	5,022	4,728
実 績	5,173					

事業 1- (2) -① 汚水の適正処理の推進 [SDGsターゲット 3.3 3.9 6.2 6.3 6.6 11.b 14.1]

事業概要

水再生センターに流入する汚水を適正に処理し、公共用水域の安全で良好な水環境を維持します。

事業目標

- ・より効率的な維持管理に努めた上で放流水の水質モニタリングを継続し、汚水の適正処理を行います。
- ・水処理悪化の原因にもなる水再生センターへの悪水流入を未然に防止する取組を継続して実施することで、良好な水環境の維持に努めます。
- ・R6 年度に大阪府が主体となり改定が予定されている「大阪湾流域別下水道整備総合計画」について、必要なデータや方針などの整理、関係者協議等を行います。

取組

取組名	流域別下水道整備総合計画等の反映
担当部署	事業マネジメント担当（下水）
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「大阪湾流域別下水道整備総合計画」について、必要なデータや方針などの整理、関係者協議等の実施
取組名	水再生センターにおける放流水質の適正維持
担当部署	三宝水再生センター
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・放流水質モニタリングの実施（三宝、石津、泉北水再生センター）
取組名	事業場排水の監視
担当部署	三宝水再生センター
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・事業場等への適切な監視指導の実施（立入検査）

予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	16,242	0	0	0	16,242
債務負担行為			0		



事業概要

日常生活や社会経済活動から発生する汚水が直接河川などに流出することを抑制し、安全で良好な水環境を維持します。

事業目標

- ▶ 未普及地区における汚水整備（下水管布設工事の施工）や水洗化啓発の継続、雨天時浸入水の削減に向けた管内水位調査により、公共流域への汚水流出を抑制します。
- ▶ 雨天時放流水の水質モニタリングを実施します。

取組

取組名	未普及地区（里道・私道など）における汚水整備
担当部署	下水道建設課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 私道公共下水道布設制度による下水管布設工事の発注（1.0km）
取組名	水洗化の促進
担当部署	給排水設備課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 水洗化啓発の継続（事業場、共同住宅、未接続家屋等） ▶ 未水洗建物未水洗状態の長期化の防止（共用開始公告後 3 年を経過した建物） ▶ 局職員による開栓時水洗化促進及び委託業者による開栓時無届接続確認
取組名	合流改善の適正管理
担当部署	三宝水再生センター
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 雨天時放流水の水質モニタリングの実施（三宝処理区、石津処理区）
取組名	雨天時浸入水の削減
担当部署	下水道管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 雨天時管内水位調査の実施（今池処理区、泉北処理区） ▶ 雨天時浸入水の原因把握と対策方法の検討業務を発注




予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	692,555	0	621,000	0	71,555
債務負担行為	719,000（R6～7年度）				



施策（3） 戦略的な上下水道施設の管理

アセットマネジメント手法を活用し、将来の改築更新需要を見据えた投資量の平準化を図ります。また、将来の水需要の減少を踏まえた施設規模の見直しや適正配置を進めることでライフサイクルコストの低減を図り、安定的な上下水道サービスを提供します。

SDGs : ゴール			SDGs : ターゲット
 6 安全な水とトイレ を世界中に	 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	 11 住み続けられる まちづくりを	6.1 6.2 9.1 11.b

KPI（重要業績評価指標）

水道管路の耐震化率^{※1}（%）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	30.6	32.3	33.2	34.3	35.2	39.2
実績	31.8					

※1 更新対象となる年代に布設された水道管（非耐震管）は、更新に合わせて耐震化するため、管路更新の進捗を示すKPIとしています（H17年度に、耐震性のある水道管を全面採用）。

有効率（水道）（%）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	95以上	95以上	95以上	95以上	※3
実績	95.6^{※2}					

※2 H30～R3年度の平均値

※3 R12年度までの目標はR5～R8年度の実績値を基に設定

下水道管きよの計画的調査率（%）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	87.0	100 ^{※4}	14.2	28.5	42.8	100
実績	90.6					

※4 R5年度で一度調査は完了し、R6年度から新たな指標で調査を開始（R6年度から0%スタート）

事業 1- (3) -① 水道施設の維持修繕・更新・最適化 [SDGsターゲット 6.1 9.1 11.b]

事業概要

水道施設（水道管路、水管橋、弁栓類、水道設備、水質検査機器、配水池、建築物）の維持修繕（点検を含む）や更新を計画的に実施します。また、水道施設の統廃合やダウンサイジングによる施設規模の最適化を検討します。

事業目標

- ・水道管路（基幹管路、配水支管）及び水管橋の更新工事を施工します。
- ・業務の効率化を目的に、管路更新工事における多様な発注手法等を検討します。
- ・水道施設の維持修繕（点検を含む）を計画的に実施します。

取組

取組名	水道管路の点検・維持修繕・更新
担当部署	水道建設課、水道保全課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・水道管路の更新工事 基幹管路 [φ350mm 以上]（中区学園町ほか）8.7km 施工（R6 年度完了 1.3km） 配水支管 [φ300mm 以下]（南区高倉台 1.7km）ほか 22.0km 施工完了 PCB 塗料を含有した水管橋の撤去・改修（3 橋） ・漏水調査の実施（中区・東区・西区・南区・美原区ほか） ・不明水対策の取組（漏水調査の検証など、要因分析を踏まえた対策の実施）
取組名	水道設備の点検・維持修繕・更新（機械・電気）
担当部署	水運用管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・浅香山配水場流量計更新工事の施工 ・東山制御所ほか直流電源更新工事の施工（R6-7） ・維持管理計画に基づく設備全般の保守点検業務の実施や計画の見直し
取組名	水道施設の点検・維持修繕（配水池・建築物）
担当部署	水運用管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・建具改修工事の実施（陶器配水場ほか） ・建築物劣化度調査業務の実施（岩室配水場） ・配水池の点検、清掃の実施
取組名	水道施設の統廃合やダウンサイジングによる最適化
担当部署	水道事業調整課、水運用管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新太井分岐運用開始に向けた大阪広域水道企業団との協定締結（小平尾配水場、さつき野配水池の運用停止及び新太井分岐運用開始） ・岩室配水場 No.1 配水池の管路化工事の施工（配水池の廃止）

予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	6,441,735	566,875	4,619,134	176,100	1,079,626
債務負担行為	6,014,700（R6～8 年度）				



事業概要

下水道管きよや水再生センター・ポンプ場の維持、改築修繕により、健全性の確保とライフサイクルコストの低減を図り、安定的な下水道サービスの提供を実現します。また、50年先の未来を見据え、施設の統廃合や、ダウンサイジングによる施設規模の最適化を検討します。

事業目標

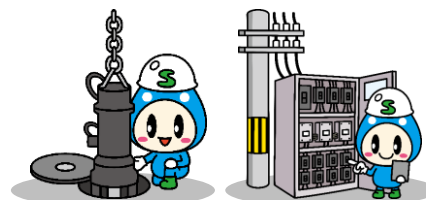
- ・新たに選定した老朽管きよを対象に調査を実施し、調査の結果破損等により対策が必要となる「劣化管」は適切に措置します。
- ・マンホールポンプの改築工事及び下水処理場・ポンプ場設備の改築工事を実施します。
- ・下水道施設の最適化のため、陵西汚水移送線（三宝－古川間）の施工を実施します。

取組

取組名	下水道管きよの維持・改築修繕
担当部署	下水道建設課、下水道保全課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽管調査 109km 実施 ・下水道管きよの改築工事（北区東浅香山町ほか）10km 発注 ・マンホールポンプ改築工事の発注（4か所） ・簡易 DB 方式によるマンホールポンプ改築工事の発注（8か所）
取組名	水再生センター・ポンプ場の維持・改築修繕
担当部署	下水道施設課、三宝水再生センター
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ場沈砂池設備更新工事の施工（浜寺下水ポンプ場ほか） ・下水道設備の資産マネジメントシステムの維持管理情報の整理
取組名	水再生センター・ポンプ場の最適化
担当部署	下水道施設課、下水道建設課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・陵西汚水移送線（三宝－古川間）の施工（1.7km） ・三宝汚水ポンプ場建設事業整備方針検討業務の実施

予算額（千円）



項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	6,392,990	1,625,775	4,297,223	0	470,012
債務負担行為	6,310,828 (R6～8年度)				



政策 02 災害時の飲料水と衛生環境の確保

施策（1） 発災時における上下水道機能の確保

地震や風水害などの災害時に、上下水道施設の被害を最小限にとどめ、給水機能と汚水処理機能を確保するため、上下水道施設の耐震化や電源の確保を進めます。

SDGs : ゴール		SDGs : ターゲット
 6 安全な水とトイレを世界中に	 11 住み続けられるまちづくりを	6.1 6.2 11.b

KPI（重要業績評価指標）

優先耐震化路線の耐震化率（％）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	96.0	97.5	99.0	100 ^{※1}	—	—
変更計画	—	98.0	99.0	100 ^{※2}	—	—
実績	97.4				—	—

※1 R7年度に目標達成予定

※2 R4年度実績を踏まえ、早期に耐震化を達成するため、R5年度より計画を前倒した。

配水池の耐震化率（％）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	77.4	77.4	84.4	84.4	84.4	84.4
変更計画	—	—	78.5 ^{※3}	84.4	84.4	84.4
実績	77.4				—	—

※3 家原寺配水場配水池更新工事の工程変更により計画を見直し

※ 配水池の耐震化事業の進捗状況を把握するため、耐震診断結果反映前の配水池の耐震化率を掲載

【参考】配水池の耐震化率（％）（耐震診断結果反映）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
変更計画	—	53.8	54.6	59.1	59.1	71.0
実績	77.4				—	—

※ 耐震診断結果を踏まえて、耐震性能を判断し耐震化率の見直しを実施

重要な管きよの耐震化率（％）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	97.8	96.4 ^{※2}	96.6	96.9	97.2	98.3
実績	97.8				—	—

※2 R5年度から「重要な管きよ」の対象延長を約420kmから約550kmに拡大

事業 2- (1) -① 水道施設の耐震化・バックアップ [SDGsターゲット 6.1 11.b]

事業概要

優先耐震化路線の構築により、地震が発生した際、特に水道水の供給が必要な重要給水施設（指定避難所や病院等）に至る給水ルートを確認します。また、配水池についても計画的に耐震化を進め、応急給水用水の貯留機能を確保します。また、給水区域間のバックアップ時に水圧が低下するおそれのある区域において、大阪広域水道企業団との緊急連絡管を整備することにより、バックアップ時の水圧を確保します。

事業目標

- ・ 優先耐震化路線である水道管路（配水支管）の耐震化工事を実施します。
- ・ 家原寺配水場の配水池更新工事（R7年度完成予定）を実施します。
- ・ 大阪広域水道企業団と緊急連絡管を構築するための基本設計業務を実施します。

取組

取組名	水道管路の耐震化（優先耐震化路線、更新に合わせた耐震化）
担当部署	水道建設課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 優先耐震化路線（美原区阿弥ほか）1.8km 構築
取組名	水道施設の耐震化（配水池）
担当部署	水運用管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家原寺配水場配水池更新工事の施工（R2-7）
取組名	配水機能のバックアップの拡充
担当部署	水道事業調整課、水道建設課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急連絡管の整備に係る基本設計業務の実施（陶器系及び桃山台系給水区域） ・ 大阪広域水道企業団と緊急連絡管に係る基本協定を締結（桃山台系給水区域）

予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	1,738,500	0	1,428,366	0	310,134
債務負担行為	335,800（R6～7年度）				



事業 2- (1) -② 下水道施設の耐震化 [SDGsターゲット 6.2 11.b]

事業概要

緊急交通路に埋設された管きよや、指定避難所から水再生センターをつなぐ管きよ等の「重要な管きよ」及び水再生センター・ポンプ場の「重要な土木施設」の耐震化を実施します。これにより、被災時における下水の流下機能や、水再生センター・ポンプ場の揚水機能、消毒機能等、必要最低限の機能を確保し、緊急交通路の道路陥没や街中への汚水流出の防止し、トイレ機能を確保します。

事業目標

- ・ 指定避難所から水再生センターをつなぐ「重要な管きよ」等の耐震化工事を行います。
- ・ 水再生センター・ポンプ場について、耐震化工事等を実施します。

取組

取組名	下水道管きよの耐震化
担当部署	下水道建設課、下水道保全課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管きよ耐震化工事（堺区錦綾町ほか）約 0.6km 施工 ・ マンホールポンプから自然流下への切り替え工事の発注（2 か所）
取組名	水再生センター・ポンプ場の耐震化
担当部署	下水道施設課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備更新工事に併せた耐震化工事の施工（三宝水再生センター高段ポンプ場ほか） ・ 耐震実施設計業務の実施（浜寺下水ポンプ場ほか）



予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	1,357,300	314,400	1,015,900	0	27,000
債務負担行為	2,286,500（R6～7年度）				



施策（２） 浸水対策の推進

大雨による内水氾濫から市民の生命と財産を守るため、過去の実績や浸水シミュレーションから浸水危険解消重点地区を選定し、ハード対策とソフト対策の両面から浸水対策を推進します。また、気候変動の影響を考慮した計画の見直しを行います。

SDGs : ゴール		SDGs : ターゲット
 11 住み続けられるまちづくりを	 13 気候変動に具体的な対策を	11.5 11.b 13.1

KPI（重要業績評価指標）

重点地区の浸水対策実施率（％）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	85.8	7.7	7.7	30.8	53.8	69.2
実 績	85.8					

※現在予定している事業を実施した場合の見通しであり、事業実施に向け検討、協議を続けます。

なお、R4年度は重点地区（24地区）の対策実施率を示しています。R5年度より対策地区を見直し、新たな重点地区（13地区）にて対策を開始します（R5年度から0%スタート）。

事業 2- (2) -① 雨水整備の推進 [SDGsターゲット 11.5 11.b 13.1]

事業概要

局地的な大雨等に対し、浸水危険解消重点地区等へのハード対策、雨水流出抑制施設の設置促進等のソフト対策により、効率的かつ効果的な浸水対策を計画的に進め、被害の最小化を図ります。浸水危険解消重点地区は、R5 年度から新たに 7 地区を選定し、対策未完了である 6 地区と併せた 13 地区に対し対策を行います。

事業目標

- ・ 浸水危険解消重点地区の雨水整備（設計・施工）を計画的に進めます。
- ・ R4 年 9 月 2 日の大雨による被害地域に対しては、施設や地形、地勢等を考慮した対策を行います。
- ・ 雨水流出抑制施設設置について、関連部署と連携し条例化に向けた取組を開始します。
- ・ 気候変動を考慮した計画の見直しとして、「雨水管理方針」に基づき「排水区毎の整備方針」を検討し、関係部署との協議を踏まえ方針を決定します。

取組

取組名	気候変動を考慮した計画の見直し
担当部署	事業マネジメント担当（下水）
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区別雨水整備計画に係る検討業務の実施 ・ 雨水管理方針の策定
取組名	浸水危険解消重点地区等の雨水整備
担当部署	下水道建設課、下水道施設課、事業マネジメント担当（下水）
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重点地区（13 地区）における取組 古川下水ポンプ場建設工事の施工（R6 年度末供用開始予定） 重点地区における設計業務の実施（福田地区ほか） ・ R4.9.2 局地的大雨による浸水被害に対する対応 設計業務及び管きょ布設工事の実施（南区三原台ほか）
取組名	雨水流出抑制施設の設置
担当部署	下水道管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雨水流出抑制施設設置の課題整理 ・ 施設管理者や開発事業者等に対する雨水流出抑制施設設置の促進




予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	5,887,151	2,456,650	3,316,868	0	113,633
債務負担行為	1,089,000（R6～8 年度）				



施策（3） 上下水道の被災に備えた対策の推進（公助）

災害時の早期復旧や事故の未然防止に向け、訓練等を通して危機事象への対応力を向上させます。また、応急給水活動計画の実効性の確保や備蓄水の分散配置を進め、災害時の飲料水を確保します。

SDGs : ゴール			SDGs : ターゲット		
 6 安全な水とトイレ を世界中に	 11 住み続けられる まちづくりを	 17 パートナシップで 目標を達成しよう	6.1	6.b	6.2
			11.5	11.b	
			17.17		

KPI（重要業績評価指標）

上下水道機能の応急復旧の短縮

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	期間短縮をめざす					
実 績						

※応急復旧の目標値（水道 25 日、下水道 30 日）：国や府の指針に基づく目標

事業 2- (3) -① 災害対応力の強化 [SDGsターゲット 6.1 6.2 6.b 11.5 11.b 17.17]

事業概要

局職員が、訓練や防災教育等を通じて、業務継続計画（BCP）や各種マニュアル、過去の事故等の教訓を十分に把握し、災害発生時に自ら考え、迅速かつ的確な行動がとれるように、災害や事故発生時の初動や応急復旧期の体制の強化及び他事業体や民間企業からの受援体制の強化を目的に、包括的民間委託業者や協定締結事業者等と連携した訓練を重ねます。

事業目標

- ・「19 大都市水道局災害相互応援に関する覚書」に基づき、本市が応援幹事都市を務める岡山市で実施される合同防災訓練に参加するほか、災害協定締結業者など他団体との訓練を継続して実施します。
- ・災害対応タイムラインや各種マニュアルに基づく訓練を通じて、災害対応業務の課題を洗い出し、改善に繋がります。
- ・併せて、IoT 等の新技術の導入を積極的に検討することで、応急復旧期間の短縮をめざします。

取組

取組名	訓練、防災教育による BCP 等の浸透と改善
担当部署	危機管理・広報広聴担当、各部
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練での検証を踏まえた業務継続計画（BCP）や各種マニュアルの見直し ・危機管理研修の実施（局内外の研修、新規採用・転入者研修等） ・各対策班における課題解決に向けた取組の実施
取組名	上下水道施設・設備の応急復旧計画の実効性の確保
担当部署	危機管理・広報広聴担当、各部
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・後方支援対策本部：他班と調整を行い、想定される応援内容を基に人員確保対策等の訓練を実施 災害協定に基づき、包括的民間委託業者の協力要員の確保や合同訓練を実施 ・水道対策本部：大規模地震を踏まえた訓練を実施し、マニュアル等の検証・改訂を実施 ・下水道管路対策本部：発災後の一次調査における調査頻度の見直し等の検討を実施 ・下水道施設対策本部：発災後の一次調査終了後の作業内容の見直し等を実施 各施設の被害想定を個別に設定し、対応内容の検討を実施
取組名	災害対応に活用できる IoT 等の新技術の導入
担当部署	危機管理・広報広聴担当、各部
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・RAPIT：各対策本部との情報共有に関するマニュアル策定を進め、訓練を実施 ・後方支援対策本部：web 会議システムやタブレットを用いた情報伝達訓練の実施、検証 ・水道対策本部：新技術（漏水調査技術等）の情報収集、導入検討 ・下水道管路対策本部：新技術の事例等の調査、既導入システムの活用検討 ・下水道施設対策本部：他自治体、他業種（インフラ関連）の先進事例調査、導入検討
取組名	他団体との協定締結と訓練の実施
担当部署	危機管理・広報広聴担当、各部
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・19 大都市水道局覚書に基づく訓練の実施（岡山市で実施される合同防災訓練への参加） ・日本水道協会関連（関西地方支部や大阪府支部等）の訓練への参加 ・下水道大都市ルールに基づく情報連絡訓練の実施 ・包括的民間委託業者や協定締結事業者等と連携した訓練の実施 ・各種訓練を通じて災害時のリソース不足を洗い出し、新たな協定締結等の必要性を検討

予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	3,611	0	0	0	3,611
債務負担行為			0		

事業概要

病院や指定避難所への応急給水活動を迅速かつ的確に実施できるように、本市所有の給水タンク車や他事業体等からの受援を効率的・効果的に運用する訓練を実施し、応急給水活動計画の実効性を高めます。また、指定避難所等に設置した災害時給水栓（すいちゃんのビックリじゃぐち）及び簡易給水タンクによる応急給水活動が円滑に行えるように、防災関係機関や区役所、自主防災組織等との連携を強化します。

事業目標

- ・ 応急給水活動計画に基づく机上訓練や給水訓練を実施し非常時に備え、訓練後の検証を通じて応急給水活動計画をブラッシュアップさせます。
- ・ 校区自主防災訓練等に引き続き積極的に参加することで、避難所等での上下水道設備の認知度向上に努めます。
- ・ 指定避難所や区役所に備蓄している災害用備蓄水について、賞味期限を迎える数量と同数を新たに配備します。新たに配備する備蓄水を5年保存から12年保存のものに切り替えることで、必要数を確保しつつ支出の削減に努めます。

取組

取組名	応急給水活動計画の実効性の確保
担当部署	危機管理・広報広聴担当、サービス推進部、水道部
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応急給水活動計画の見直し ・ 応急給水訓練の実施 ・ 円滑な応急給水活動に向けた防災関係機関や区役所、自主防災組織等との連携強化（地域住民や堺市指定避難所等対応職員への上下水道設備の設置方法の周知など） ・ 上下水道設備の設置動画の拡充（避難所の上下水道設備の設置方法等の動画コンテンツ作成）
取組名	備蓄水の分散配置
担当部署	危機管理・広報広聴担当
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 備蓄水の分散配置及び12年保存のペットボトル備蓄水の導入（指定避難所や各区役所の災害用備蓄倉庫、上下水道局の災害対策倉庫） ・ 賞味期限が近い備蓄水を活用した啓発の実施




予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	7,600	0	0	0	7,600
債務負担行為			0		



施策（４） 自助・共助の活動促進

市民が自身や家族、地域の力で災害から身を守り、避難生活において適切な行動が取れるように、非常時をはじめ平時から災害に関する情報を積極的に発信します。

SDGs : ゴール			SDGs : ターゲット		
 6 安全な水とトイレ を世界中に	 11 住み続けられる まちづくりを	 17 パートナシップで 目標を達成しよう	6.1	6.b	6.2
			11.5	11.b	
			17.17		

KPI（重要業績評価指標）

災害に備えて家庭又は地域等で対策を講じている割合※（％）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	72.5	74.0	74.5	75.0	76.0	80.0
実 績	78.7					

※ 公募 500 名を対象とした市政モニターアンケート結果

事業概要

広報さかいや局ホームページ、SNS、防災マップ、動画コンテンツ（局 YouTube チャンネル）等の広報媒体をはじめ、イベント等を活用し、飲料水や携帯トイレの家庭内備蓄、内水ハザードマップの事前確認の重要性等を啓発し、市民の行動変容につなげる取組を推進します。

事業目標

- ・災害時に地域の力で指定避難所の簡易給水タンクや災害時給水栓、マンホールトイレを設置・運用ができるように、市危機管理室や区役所との連携のもと、各設備の新設時の説明や校区防災訓練等の機会を通じて習得できるよう支援します。
- ・人命救助の要となる医療機関等において、施設や給排水設備の耐震・停電対策に取り組んでいただけるように、啓発や技術的助言を行います。
- ・内水ハザードマップについては、マップの基礎データである浸水想定区域図の作成を進め、新たに供用を開始する施設の状況及び 1000 年を超える確率の降雨による浸水想定を反映します。

取組

取組名	市民への啓発（家庭内における備蓄、リスクの把握等）
担当部署	危機管理・広報広聴担当、各部
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・防災啓発活動の実施（イベント等での啓発、機会を捉えた情報発信等） ・広報媒体を活用した情報発信の強化（広報さかい、局ホームページ、SNS、動画チャンネルなど） ・市と包括連携協定を締結している事業者と連携した飲料水の備蓄や停電断水、水道管凍結等に関する周知・啓発の実施を検討
取組名	校区防災訓練における上下水道設備の設営訓練
担当部署	危機管理・広報広聴担当、各部
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・校区防災訓練等への積極的な支援（簡易給水タンクや災害時給水栓、マンホールトイレの設営方法や設備の知識習得など） ・上下水道設備の設営動画の拡充（避難所の上下水道設備の設営方法等の動画コンテンツ作成）
取組名	医療機関等への啓発
担当部署	危機管理・広報広聴担当、サービス推進部、水道部
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関への訪問、リスクコミュニケーションの実施（R6 年度実施予定：急性期医療施設 2 箇所、災害医療病院 5 か所）
取組名	内水ハザードマップの更新
担当部署	事業マネジメント担当（下水）
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・R7 年度の内水ハザードマップの更新に向けた浸水想定区域図の見直し（新たに供用を開始する施設の状況及び 1000 年を超える確率の降雨による浸水想定を反映）

予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	27,500	13,750	0	0	13,750
債務負担行為			0		

事業概要

市民が災害発生時に自身や家族の安全を守る行動が適切に取れるように、関係機関との連携のもと、迅速かつ的確に必要な情報を発信します。

情報発信にあたっては、あらかじめ策定している計画やマニュアルの内容に沿って、迅速かつ的確に情報を収集し、上下水道施設・設備等の被害状況や復旧目処、応急給水等の情報を、局ホームページや SNS 等を利用して発信します。また、そのための体制を強化します。

事業目標

- ・ 広報さかいやイベント等の機会を活用し、局が非常時に情報発信を行う媒体（局ホームページや局 SNS、スマートフォンアプリ「すいりん」等）の PR を推進します。
- ・ 情報収集・発信に係る災害対応訓練や研修を継続的に実施することで、マニュアルの整理や充実化を図ります。

取組

取組名	災害情報の発信
担当部署	危機管理・広報広聴担当、各部
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常時に情報発信を行う媒体（局ホームページや局 SNS（X（旧 Twitter）・LINE）、スマートフォンアプリ「すいりん」等）の啓発を実施 ・ 局広報媒体の運用マニュアルの確認及び災害時の情報発信に係る訓練、研修の実施 ・ 災害時のコールセンターへの問い合わせを減少させる取組を検討

予算額（千円）



項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	39	0	0	0	39
債務負担行為			0		



政策 03 安定した経営の実現

施策（1） 企業力の向上

上下水道事業を支える職員の人材育成や、職員が活躍できる環境整備を推進し、「職員力」「組織力」を強化することで企業力の向上を図ります。また DX を推進することで、より効果的な仕事の変革に取り組みます。

SDGs : ゴール		SDGs : ターゲット
 5 ジェンダー平等を 実現しよう	 8 働きがいも 経済成長も	5.4 5.5 8.2 8.5

KPI（重要業績評価指標）

研究発表等件数（累積件数）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	15	30	45	60	120
実 績	12					

時間外勤務総時間数の削減率※（%）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	10.0	11.4	12.8	14.3	20.0
実 績	3.2					

※ R1 年度を基準年度とした削減率

事業 3- (1) -① 挑戦する人材の育成 [SDGsターゲット 5.5 8.2 8.5]

事業概要

業務遂行に必要な基礎的能力を確実に習得することで、職員力の強化を図り、自己成長や仕事の変革などに挑戦し続ける人材を育成します。

事業目標

- 外部専門機関による技術及び知識の習得研修等を実施することで基礎的能力の向上を図り、加えて自己成長やキャリア形成の支援を推進します。
- 人事評価制度について、組織と個人の目標を連動させ職員の課題解決・業務改善能力の向上を図ります。

取組

取組名	基礎的能力の向上
担当部署	技術力強化担当
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> 各種研修、局内インターン等の実施 技術職員の実践的な育成プログラムへの視覚的教材の追加
取組名	自らの学びを支援
担当部署	技術力強化担当、事業サポート課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援ツールの提供及び活用促進 資格取得支援の在り方について運用方法の見直しを検討
取組名	課題解決・業務改善能力の向上
担当部署	事業サポート課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> 組織目標と個人目標の連動 「課題解決・業務改善能力の向上」と人事評価の連動

予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	11,791	0	0	0	11,791
債務負担行為			0		



事業 3- (1) -② 魅力ある組織の構築 [SDGsターゲット 5.4 5.5 8.2 8.5]

事業概要

堺市職員ワーク・ライフ・バランス計画を踏まえ、「やりがいと成長を実感できる働き方」「パフォーマンスを最大限発揮できる組織」の実現に向けて、魅力ある組織の構築に取り組みます。

事業目標

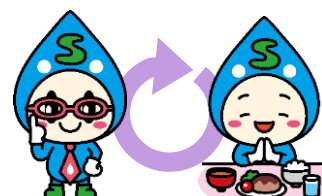
- ・テレワーク等の推進や堺市版フレックスタイム制度の導入検討を実施します。
- ・その他、仕事意欲の向上に係る取組を検討する等、多様な人材が活躍し達成感が得られる環境整備を推進し、定着を図ります。

取組

取組名	生産性向上をめざす柔軟な働き方の実現
担当部署	事業サポート課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な働き方（勤務制度）の検討
取組名	多様な人材が活躍し達成感が得られる環境整備
担当部署	事業サポート課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・女性が活躍できる環境整備に係る取組の検討 ・仕事意欲の向上に係る取組の検討
取組名	育児・介護・病気等と仕事の両立支援
担当部署	事業サポート課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休業取得率向上の取組の推進 ・職員の健康増進の取組の推進

予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	0	0	0	0	0
債務負担行為			0		



事業概要

ICT の急速な進化やコロナ禍を契機とした社会の変革に対応するため、業務フロー全体を見直し、利用者サービス向上及び職員の業務効率化の両面において「いつでも、どこでも」をキーワードにアナログな仕事のデジタル化を推進します。また、セキュリティ対策を適正に実施し、情報セキュリティインシデントの発生を低減するよう取り組みます。

事業目標

- ・「上下水道局 DX 推進本部」を軸とした DX 推進及び ICT 活用に取り組みます。
- ・新技術の活用として、IoT 技術等を用いた管路や設備の維持管理業務の効率化に取り組みます。
- ・DX による新たな変革を行うことができる人材の育成に向け、各種の研修や事例発表会などを実施します。
- ・統合基盤やネットワークシステムなどの情報インフラを更新することで、業務システムの安定稼働及び機能の増強によるペーパーレスや DX 推進を後押しします。
- ・情報セキュリティ対策の強化においても、研修の実施などにより局内の情報セキュリティ意識を向上させます。

取組

取組名	DX 推進、ICT 利活用
担当部署	広域・公民連携・DX 推進担当、各課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・DX 推進を目的とした研究・研修などの実施 ・DX 推進本部会議による進捗管理【DX・ICT 取組一覧（P30）参照】
取組名	情報セキュリティ対策の実施
担当部署	広域・公民連携・DX 推進担当
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ意識の向上を目的とした研修などの実施

予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	715,653	0	0	0	715,653
債務負担行為	478,309（R6～12年度）				




DX・ICT 取組一覧（R6 年度）

	取組名	取組概要	担当課
1	水道設備の資産管理システムの導入検討	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者から資産管理システム導入に向けた提案を募集・導入検討（水運用管理システム更新事業におけるマーケットサウンディングを活用） 	水運用管理課 経営企画室
2	マンホールポンプほか保守点検業務の AI 診断機能による業務効率化	<ul style="list-style-type: none"> AI 診断機能を用いた監視装置（全 231 機場）を用いて予防保全化を推進 監視システムによる機器情報の集約と健全性診断への活用 	下水道保全課
3	積算システムの更新に伴う業務 DX（水道）	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書の検討 システム構築手法の検討 関係機関、他団体との協議 	水道建設課
4	積算システムの更新に伴う業務 DX（下水道）	<ul style="list-style-type: none"> 要求水準書及び仕様書の作成 システム更新の入札及び契約 	下水道事業調整課
5	統合基盤の更新	<ul style="list-style-type: none"> 各業務システムの移行支援 ファイルサーバの容量拡張による更なるペーパーレス推進 オンラインバックアップ機能導入によるデータ喪失リスクの低減 	経営企画室
6	生成 AI を活用した会議録作成支援ツールの導入	<ul style="list-style-type: none"> 生成 AI を活用した会議録作成支援ツールを一次導入し、費用対効果の検証及び局内展開を検討する 生成 AI の利用について、生成 AI ガイドラインを遵守し、活用できる環境を整理する 	事業サポート課
7	車両管理システム改修による公用車運転前後のアルコール濃度測定対応	<ul style="list-style-type: none"> Excel 管理の「酒気帯び確認記録簿」を車両管理システムで一元管理することによる入力作業の負担軽減及び入力漏れ防止 	事業サポート課
8	ネットワークシステムの更新	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書作成、入札及び契約 冗長構成の拡大による業務影響リスクの低減 監視通報機能導入による迅速な初動対応 	経営企画室
9	衛星画像解析技術を活用した漏水検知の導入	<ul style="list-style-type: none"> 近隣事業者との当該事業連携に向けた協議の実施 導入時の費用対効果の検討 	水道保全課
10	予算決算事務の BPR	<ul style="list-style-type: none"> 予算決算事務に係る BPR 実行支援業務の発注 実行支援業務に合わせて、業務フローの見直しを実施 	経営企画室

※ DX・ICT に係る取組のうち、導入に向けた実証実験やサウンディング等を実施するものを記載

施策（2） 経営基盤の強化

将来にわたり安定的に上下水道サービスを提供するため、収支バランスの改善と広域連携、公民連携により、経営基盤を強化します。

SDGs : ゴール	SDGs : ターゲット
 17 パートナシップで 目標を達成しよう	17.16 17.17

KPI（重要業績評価指標）

純損益（水道事業）（億円）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	40	0	0	△1	△8
実 績	8					

単年度資金収支（水道事業）（億円）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	32	2	4	1	△9
実 績	20					

純損益（下水道事業）（億円）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	3	12	10	8	11
実 績	17					

単年度資金収支（下水道事業）（億円）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	△13	△3	△6	△6	△1
実 績	△9					

事業 3- (2) -① 収支バランスの改善（水道事業） [SDGsターゲット 17.16 17.17]

事業概要

収支改善の取組を実行し、計画期間内の累積損益を黒字化することで、収支ギャップを解消します。また、企業債借入水準を定め、新規発行額及び支払利息の増加を抑制し、将来世代への料金負担の偏りを防ぎます。

事業目標

- ・収支改善の取組として、未利用資産の貸付や債権の早期収納などによる収入の確保に加え、水道管材料の変更により建設改良費のコスト削減などに引き続き取り組みます。
- ・企業債借入について、経営戦略で定めた収支見通しどおり執行できるよう適切な管理を行います。併せて、借入手法を検討し利払いの削減を図ります。

取組

取組名	計画期間内の累積損益の黒字化（水道事業）
担当部署	経営マネジメント担当ほか
取組概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善の取組の実施 	
取組名	料金収入の確保（事業サービス課）
<ul style="list-style-type: none"> ・未納債権の早期徴収の促進（滞納者における新規滞納の発生の抑制、給水停止解除の適正実施、法的措置の効果的な実施） ・「すいりん」の登録率向上【取組名：「すいりん」の機能拡充（P38）参照】 	
取組名	未利用資産の利活用（事業サポート課、水運用管理課）
<ul style="list-style-type: none"> ・浅香山浄水場跡地の売却に向けた再公募の準備 ・広告媒体の活用や不用品の売却による収入確保 	
取組名	建設改良コストの縮減（水道建設課）
<ul style="list-style-type: none"> ・配水支管更新材料変更による事業費の削減（配水用ポリエチレン管を約 14km で実施） 	
取組名	維持管理コストの縮減（水道事業調整課）
<ul style="list-style-type: none"> ・施設最適化による施設における使用電力費削減の推進【取組名：水道施設の統廃合やダウンサイジングによる最適化（P13）参照】 	
取組名	企業債借入水準の適正化（水道事業）
担当部署	経営マネジメント担当
取組概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・収支見通しに基づき、計画的に企業債を発行 ・将来の支払い利息を軽減するため、起債の借入手法の変更 	

予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	98,828	0	0	0	98,828
債務負担行為	8,000（R6～11年度）				

事業概要

企業債制度の活用や、地方公営企業法に基づく長期の借入により、資金収支の黒字を維持します。また、長期的な純損益と資金収支の黒字を確保することができる企業債の借入水準を設定します。

事業目標

- ・ 収支改善の取組として、未利用資産の貸付や債権の早期収納などによる収入の確保、事業の発注規模・手法の見直しによる建設改良コストの縮減、水再生センターにおける運転管理の工夫による維持管理コストの縮減などに取り組みます。
- ・ 企業債の借入について、経営戦略で定めた収支見通しどおり執行できるよう適切な管理を行います。併せて、借入手法を検討し利払いの削減を図ります。
- ・ 制度が見直しされる資本費平準化債の更なる活用を検討します。

取組

取組名	企業債制度等の更なる活用（下水道事業） 企業債借入水準の適正化（下水道事業）
担当部署	経営マネジメント担当
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収支見通しに基づき、計画的に企業債を発行 ・ 将来の支払い利息を軽減するため、起債の借入手法を変更 ・ 資本費平準化債及び一般会計からの長期借入を活用し、資金繰りを改善
取組名	経費回収率の適正化（下水道事業）
担当部署	経営マネジメント担当ほか
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営改善の取組の実施
取組名	使用料収入の確保（事業サービス課）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未納債権の早期徴収の促進（滞納者における新規滞納の発生の抑制、給水停止解除の適正実施、高額滞納者の滞納処分の実施） ・ 「すいりん」の登録率向上【取組名：「すいりん」の機能拡充（P38）参照】
取組名	未利用資産の利活用（事業サポート課、下水道施設課）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泉北水再生センター内の未利用地の貸付 ・ 広告媒体の活用や不用品の売却による収入確保
取組名	建設改良コストの縮減（下水道建設課、下水道保全課、下水道施設課）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改築・耐震化工事における発注規模拡大による経費縮減 ・ マンホールポンプ設備工事における概算数量設計の試行実施
取組名	維持管理コストの縮減（三宝水再生センター）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転管理の工夫による動力費の削減【取組名：環境負荷の少ない事業運営（省エネ運転など）（P42）参照】

予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	5,610	0	0	0	5,610
債務負担行為			0		

事業 3- (2) -③ 広域連携の推進 [SDGsターゲット 17.16 17.17]

事業概要

大阪府や他の水道事業者と連携し、将来の府域一水道に向けた取組を推進します。また、他の事業者との共同化等の連携事業に取り組みます。

事業目標

- ・大阪府水道基盤強化計画に基づく取組の推進及び他の事業者との業務の共同化等の検討に取り組みます。
- ・大阪広域水道企業団の構成団体として、企業団の円滑な運営に寄与します。

取組

取組名	大阪府や他の事業者と連携した将来の府域一水道に向けた取組の推進
担当部署	広域・公民連携・DX 推進担当
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府が設置する「府域一水道に向けた水道のあり方協議会」での将来の府域一水道に向けた取組の推進 ・大阪府水道基盤強化計画に基づく取組の推進として、指定給水装置工事事業者制度 WG（大阪府設置）での指定給水装置業者指定業務の共同化手法の検討
取組名	他の事業者との連携事業（業務の標準化、システムの共同化等）の検討
担当部署	広域・公民連携・DX 推進担当
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府水道基盤強化計画に基づく、事務の共同化やシステム・仕様の統一化等の検討

予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	0	0	0	0	0
債務負担行為	0				

事業 3- (2) -④ 公民連携の推進 [SDGsターゲット 17.16 17.17]

事業概要

既存の公民連携にとらわれることなく、本市が引き続き担うべき業務と民間事業者等に委ねるべき業務の役割分担の最適化を図ります。

事業目標

- ・ 公民連携手法を用いた水運用管理システムの更新やウォーターPPP 導入可能性調査などを進めます。
- ・ 局ホームページに開設している公民連携プラットフォームや水道 ICT 情報連絡会等を通じて、幅広いジャンルの提案や情報の収集、実証実験やフィールド提供の実施など、民間ノウハウの活用や新技術の導入に向けて調査及び研究を進めます。

取組

取組名	配水池等の運転管理及び維持管理体制の再構築
担当部署	水運用管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者選定支援業務委託の実施 ・ 水運用管理システム更新事業の公募開始
取組名	水再生センター及びポンプ場の運転管理及び維持管理体制の再構築
担当部署	下水道施設課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間事業者へのサウンディング調査、リスク分担の整理 ・ 今後の施設統廃合を踏まえた運転、維持管理体制のあり方（最終版）の作成
取組名	民間ノウハウの調査及び研究
担当部署	広域・公民連携・DX 推進担当
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民連携プラットフォームや水道 ICT 情報連絡会における情報収集 ・ 業界紙・新聞等を起点とした他都市の先進事例、民間ノウハウの情報収集
取組名	ウォーターPPP 導入検討
担当部署	下水道事業調整課、下水道保全課、下水道施設課、三宝水再生センター、経営企画室
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導入可能性調査の実施により、本市における最適な手法を検討 ・ 国等における説明会や他都市調査における情報収集

予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	34,915	20,000	0	0	14,915
債務負担行為			0		

事業 3- (2) -⑤ 包括的民間委託のモニタリング及び効果検証 [SDGsターゲット 17.16 17.17]

事業概要

包括的民間委託の適正なモニタリングを実施し、透明性及び客観性を確保するためにモニタリング結果を公表します。また、更新時期を見据えた継続的な効果検証により、事業環境に応じた最適な公と民の役割分担の検討を進めます。

事業目標

- ・ 局の 3 つの包括的民間委託（水道メーター検針・料金収納等業務、下水道管路施設維持管理等業務、水再生センター施設維持管理業務）において、適正なモニタリングとモニタリング結果の公表を継続して行い、契約更新時期を見据えた効果検証を継続的に実施します。
- ・ 技術力及びノウハウの確実な継承を目的とした人材育成を実施します。

取組

取組名	水道メーター検針・料金収納等業務
取組名	下水道管路施設維持管理等業務
取組名	水再生センター施設維持管理業務
担当部署	経営企画室 事業サービス課 下水道保全課 三宝水再生センター
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ モニタリング体制の強化 ・ モニタリング結果の公表 ・ 職員のモニタリング力の向上 ・ 技術継承に向けた仕組みの構築 ・ 更新時期を見据えた効果検証 ・ 次期契約に向けたサウンディング調査（水道メーター検針・料金収納等業務）

予算額（千円）


項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	2,635,989	0	387,269	0	2,248,720
債務負担行為	0				



政策 04 信頼される上下水道へ

施策（1） 利用者の利便性の向上

技術の進展や利用者のニーズを踏まえつつ、上下水道局における各種手続きを簡素化し、利用者の利便性やサービスの向上を推進します。

SDGs : ゴール	SDGs : ターゲット
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	9.1

KPI（重要業績評価指標）

「すいりん」の登録率（％）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	12.0	13.0	14.0	15.0	16.0	20.0
実績	12.1					

来庁による給排水設備の申請及び受付窓口の利用者数の減少率（％）

来庁による給排水設備の申請※

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	0	0	0	△20	△40	△80
実績	0					

※ 給水装置工事申込・排水設備計画確認申請

受付窓口の利用者数

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	△5	△15	△25	△35	△45	△80
実績	△38.2					

※ 給水装置工事申込・排水設備計画確認申請

事業 4- (1) -① 来庁レス・キャッシュレス・ペーパーレスの推進 [SDGsターゲット 9.1]

事業概要

めまぐるしく変化する社会情勢に対応するため、急速に進化する ICT 等の新技術や利用者のニーズを的確に捉え、DX を推進します。また、3レス（来庁レス・キャッシュレス・ペーパーレス）を実現するデジタル窓口を構築することで、更なる利用者の利便性やサービスの向上につなげます。

事業目標

- ・スマートフォンアプリ「すいりん」の登録者数向上のため、ニーズに対応した機能拡充などを引き続き検討します。
- ・給排水設備工事管理システムの構築（R7 年度運用開始予定）をはじめ、行政手続きのオンライン化を推進し、来庁レス・キャッシュレス・ペーパーレスに取り組みます。

取組

取組名	「すいりん」の機能拡充
担当部署	事業サービス課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の利便性向上や業務効率化に資する機能拡充の検討 ・登録者拡充のための広報活動を実施
取組名	行政手続きのオンライン化
担当部署	広域・公民連携・DX 推進担当、給排水設備課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・行政手続きのオンライン化を推進（R7 年度までに 100%目標、R6 年度より 4 件の検討を開始） ・給排水設備工事管理システムの構築（R7 年 4 月運用開始予定） ・指定給水装置工事事業者及び指定排水設備工事事業者に対する新システム利用の推進
取組名	スマートメーターの導入に向けた検証
担当部署	事業サービス課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートメーターの事例調査 ・包括的民間委託業者と連携した実証実験の実施 ・New-Smart での事例を踏まえ、本市の実情にあった手法を検討
取組名	手数料決済のキャッシュレス化
担当部署	事業サービス課、給排水設備課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・給排水設備の申請等に係る手数料決済のキャッシュレス化に向け、入札を実施



予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	146,047	0	0	0	146,047
債務負担行為	75,244 (R6~12 年度)				



施策（２） 利用者との信頼関係の構築

利用者に上下水道事業に対する理解を深めていただき信頼関係を構築するため、最適な媒体を活用した情報発信を積極的に図り、利用者の声をサービスの向上や業務改善につなげます。

SDGs : ゴール		SDGs : ターゲット
 16 平和と公正をすべての人に	 17 パートナシップで目標を達成しよう	16.6 16.7 17.17

KPI（重要業績評価指標）

広報・広聴の満足度（項目「満足していない」の割合）※（％）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	5.0 未満	5.0 未満	5.0 未満	5.0 未満	5.0 未満
実 績	8.4					

※ 公募 500 人を対象とした市政モニターアンケート結果

事業 4- (2) -① 利用者との相互理解 [SDGsターゲット 16.6 16.7 17.17]

事業概要

様々な世代に上下水道事業への関心と理解を深めていただくため、最適な広報媒体や手法により積極的に情報発信を行い、経営状況や事業の目的、効果等をわかりやすく伝えることで、事業運営の透明性を高めます。また、利用者からの多様な意見等を利用者サービスの向上や業務改善につなげ、その対応過程の見える化を図ることで、双方向のコミュニケーションを確立し、利用者との信頼関係を構築します。

事業目標

- ・ 出前教室や上下水道まなび隊など、ターゲットや目的を踏まえた最適な広報を展開します。
- ・ 利用者の多様な声を分析し、局ホームページの内容の充実を図ります。併せて、市政モニターアンケート等で情報発信の満足度や認知度が低いものは、局ホームページや SNS 等での情報発信を強化します。
- ・ 上下水道情報誌を発行し、事業理解の更なる向上を図ります。

取組

取組名	各種媒体による効率的かつ効果的な情報発信
担当部署	危機管理・広報広聴担当、各部
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者アンケート等を活用した利用者満足度の把握 ・ 局ホームページでの掲載内容の更なる充実 ・ 局 SNS、「すいりん」の機能を活用した即時かつ効果的な情報発信
取組名	ターゲットに応じたメッセージ性の高い広報の実施
担当部署	危機管理・広報広聴担当、各部
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上下水道事業への理解を深めてもらう機会の創出（アンケート結果の反映、学習用動画の活用） ・ ターゲットや手法、時期、費用対効果等を踏まえたイベントの実施（上下水道事業まなび隊の対面開催、開局 20 周年に関連した事業の実施）
取組名	利用者の声をサービスの向上や業務改善に反映
担当部署	危機管理・広報広聴担当、各部
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上下水道情報誌の発行、誌面と連携したアンケートによる利用者ニーズや認知度の把握 ・ 利用者の声に対する対応状況等の見える化（局ホームページ等）



予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	8,502	0	0	0	8,502
債務負担行為			0		



施策（3） カーボンニュートラルへの貢献

省エネ・創エネを進め、温室効果ガスの排出量を削減します。

SDGs : ゴール		SDGs : ターゲット
 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	 13 気候変動に 具体的な対策を	7.2 7.3 13.1

KPI（重要業績評価指標）

温室効果ガス排出量の削減率（％）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	R12年度の目標達成をめざす				△50 ^{※1}
実 績	△40.3					

※1 H25 年度を基準年度とした削減率

事業 4- (3) -① エネルギー使用量の削減 [SDGsターゲット 7.2 7.3 13.1]

事業概要

改築更新に併せた省エネ設備の導入や、LED 照明設備への切替えを進めます。また、各水再生センターにおいては、消費エネルギーを考慮した汚水の適正処理により、温室効果ガスの排出量を削減します。

事業目標

- ・ 風量の制御性に優れた送風機の改築更新工事や照明設備の更新工事（LED 化）を実施します。
- ・ 水再生センターでは、省エネルギー・低コスト運転を継続することに加え、効率的な運転管理に向けた改善策を検討し、温室効果ガスの排出量を削減します。

取組

取組名	省エネ設備の計画的な更新（省エネ機器）
担当部署	下水道施設課、水運用管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 照明器具の更新 （浅香山配水場ほか 6 箇所の水道施設、泉北水再生センター総合管理棟、局本庁舎）
取組名	環境負荷の少ない事業運営（省エネ運転など）
担当部署	三宝水再生センター
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三宝水再生センターにおける取組 水質とエネルギーの最適化（電力、薬品使用量の削減） ・ 石津、泉北水再生センターにおける取組 包括民間委託における省エネルギー運転の推進

予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	896,069	0	0	0	896,069
債務負担行為			0		

事業 4- (3) -② 再生可能エネルギーの利用推進 [SDGsターゲット 7.2 7.3 13.1]

事業概要

既存施設を有効活用した再生可能エネルギーの創出に取り組みます。また、再生可能エネルギー100%電力への切替など、費用対効果を見据えながら再生可能エネルギーの利用を推進します。

事業目標

- ・ 既存施設を有効活用した再生可能エネルギー創出事業の実施に向けた検討を行います。

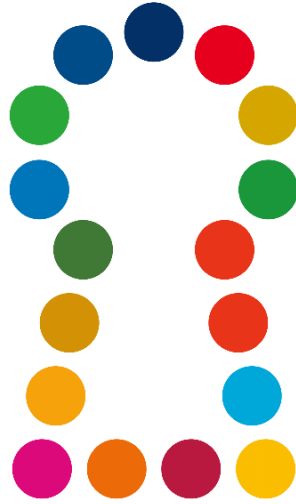
取組

取組名	太陽光・小水力発電の導入検討
担当部署	事業マネジメント担当、下水道施設課、三宝水再生センター、水運用管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再生可能エネルギー創出に向けた対象施設の選定や事業内容の検討
取組名	下水道資源・エネルギーの利用
担当部署	下水道施設課、下水道事業調整課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再生水の水質基準の確認、内川への影響の確認 ・ 再生水利用者等と情報・意見交換を実施
取組名	再生可能エネルギー100%電力への切替
担当部署	経営マネジメント担当、技術力強化担当
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再生可能エネルギー100%電力の調達方法に係る調査を実施

予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	70,115	0	40,000	0	30,115
債務負担行為	0				





SDGs未来都市・堺

Sustainable Development Goals Future City, SAKAI CITY

上下水道事業 単年度実施計画（令和6年度版）

令和6年 3月 発行

堺市 上下水道局 経営企画室

〒591-8505

堺市北区百舌鳥梅北町1丁39番地2

T E L : 072-250-9227

F A X : 072-250-6600

